

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

皆さん、「地域力」ってご存じですか？

てーねん・どすこい倶楽部は、すみだNPO協議会のメンバーでもあり、墨田区「地域力支援部 地域活動推進課 まなび担当」の久保谷雄真（くぼたにゆうま）氏と、何度かメール交換する機会がありました。部門名からでは、どんなお仕事をされているのかよく分かりませんでしたので、お話を伺いました。

Q1 「地域力支援部」とはどのような部門ですか？

A1 地域力支援部は、地域活動推進課、文化芸術振興課、スポーツ振興課、オリンピック・パラリンピック室の3課1室で構成され、町会・自治会やNPO活動への支援、文化芸術・スポーツの振興、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成など、様々な施策を展開し、地域力の向上に取り組んでいます。

Q2 「地域力」とは具体的にどんなことですか？

A2 墨田区では、地域力を「人と人がつながり、様々な主体が各分野・各地域で地域の課題を積極的に解決していく力」と定義しています。



近年、少子高齢化の急速な進行や情報通信技術の進歩などを背景に、これまでまちの発展の原動力となってきた地域コミュニティに変化が生じ、地域のつながりの希薄化が指摘されています。また、個人の価値観の多様化により、子育てや介護、防災・防犯など、日々

の暮らしに関わる地域課題も複雑化しています。こうした課題を解決するためには、行政の力だけでなく、「地域力」が必要であり、その向上が本区のさらなる発展につながると考えています。

Q3 「地域活動推進課」としてはどのようなお仕事をされていますか？

A3 当課では、令和元年6月に令和7年度までの7カ年を計画期間とした「墨田区地域力育成・支援計画」を策定しました。現在は、この計画に基づいて、「人づくり、場づくり、仕組みづくり」の視点から、地域力の向上・推進を図るため、様々な事業に取り組んでいます。「人づくり」の視点では、地域の課題解決に向けて主体的に活動できる人材の発掘や育成、「場づくり」の視点では、すみだ学習センター、コミュニティ会館、地域プラザなどの区民施設の維持管理、「仕組みづくり」では、町会・自治会活動の支援や、地域の課題を自主的・自立的に解決していくための「地域力

向上プラットフォーム」の構築などに取り組んでいます。

Q4 「まなび担当」として、現在取り組んでいる具体的なお仕事を1つ教えてください。

A4 代表的な事業として、「すみだの力応援助成事業」をご紹介します。この事業は地域のまちづくりを担う団体の成長と発展を目指して、墨田区の地域課題に取り組む、先駆的・創造的・発展性の高いまちづくり活動を支援するものです。毎年5月ごろに募集を行い、助成対象として採択された団体には、事業に係る経費の一部を「すみだの力応援基金」（区民や事業者等による寄付金）から助成しています。ぜひ皆様の活動にも活用いただければと思います。

（記者）私達の活動も、3つの視点から、支えがあることが分かり、今後とも地域活動に努めていきたいと感じました。ありがとうございました。

お母さんはケーキ屋「後始末」その23 山谷 いく

閉店した翌日は、気が抜けて店には行きたくなかった。店から百メートルも離れていないマンションに居た2年前は、まさか店を廃業するなんて思ってもみなかった。店は廃業したものの、慌てて引っ越しをする必要もなく、しばらくは夫の事務所としながら不動産屋に居ぬきで店を販売できないものかと相談してみたが、ケーキ屋の設備付きということでおいそれと買手は見つからない。今の時代ならネットで探せたかもしれない。いつまでもこのままの状態にいる訳にもいかず、店を契約時の状態に原状復帰して大家さんに返さなければならぬ。夫はあちこち知人を頼りに解体業者を紹介してもらった。

機材を撤去する日になった。搬入した時と同じようにフォークリフトで四、五百キロはあるオーブンを、3人がかりでいとも簡単に運び出す。使い方も分からず、何度も失敗しながら、どっぴか癖が呑み込めて、やっと自分のオーブンになったのは、ついこの間のような気がする。この先は誰の手に渡るのだろうか。昨日は誰もいない厨房で、もう私の物ではなくなるミキサーや冷蔵庫を磨き上げた。ホイッパーの細いワイヤーの付け根を歯ブラシで磨きながら、志功くんがこうやって磨いていたっけな、と思う出す。彼のその後を案じていたら、パン屋で働いていると

のことでほっとする。泥棒が侵入した窓、ガンちゃんから志功くんに引き継がれてモップ掛けされた床、喫茶のテーブルや椅子。特に長椅子はクリスマス度に痛む腰を休めようと寝そべった長椅子だった。午後から用事があって夫と交替し3時間ほど留守して戻ったら、事務所や厨房の仕切りドアはなく、ましてや喫茶部の椅子もテーブルもない。「Keiママ」の跡形はほぼ消えかけてい

た。廃業したんだもの、後始末は当然のことなのに……、この有様は。あれほどケーキ屋の仕事から逃れたい、そればかりを願い、仕方なく続けていた仕事を辞められたというのに、それも借財を抱えたままの辛い廃業とは違う。夫の稼ぎで重労働から妻を救ってくれた、めでたい廃業ではないか。なのに、気力は抜けていく。

二度とこの手で押し上げるこのない店のシャッターを夫がぐんと引っ張る。ガラガラガツン、シャッターは下りた。夫は私の肩に手を掛け「御疲れ、ご苦労さん」弾んだ声を掛ける。夫のように率直には喜べない。ケーキ屋「Keiママ」への未練を断ち切ろうと、夫の手を払い退け先に歩き出す。(うつむいては駄目!)自分を叱るように見上げた先には、自宅のある14階建てマンションの窓が、西陽を受けてキラキラと輝いていた。

手軽にクッキング 124

<2月のごはん>

「梅豚枝豆の麦ごはん」

<材料>4人分 (1人分391kcal)

米	250g
押麦	40g
だし昆布	7~8cm
酒	大さじ1
しょう油	大さじ1
しめじ	1/2房
豚バラ薄切り	80g
酒	小さじ1
しょう油	小さじ1
生姜	1かけ
ねぎ	1/4本
冷凍枝豆	100g (豆:50g)
赤しそ梅干し	1個
白いりごま	少々



<作り方>

1. 米はとぎ、炊飯器に米と押し麦を入れ、2合分の水加減をして、だし昆布を入れる
2. しめじは石づきを切り、バラしておく
3. 豚肉は1cmに切り、酒・しょう油を振りかけて、フライパンで炒めておく
4. 生姜は、みじん切りにする
5. ねぎは、粗いみじん切りにする
6. 冷凍枝豆は、さやから出しておく
7. 1の炊飯器に、酒としょう油を入れてかき混ぜ、2のしめじと3の豚肉と4の生姜と6の枝豆を加え、かき混ぜずに梅干しを1個入れて炊く
8. 炊き上がったら、梅干しの種を取り、5のねぎを加えてさっくりと混ぜる
9. 器に盛って、白いりごまを振りかける

◆白米に麦や胚芽米など加えて、食物繊維やビタミンB群を欲張ってとってください。生姜・ねぎ・梅干しをお好みで加え、さっぱり感をプラスします。

(協力：食育支援部)

「豆まきの思い出」 鈴木恵美子

節分の時期となり、近所のスーパーでは、福豆の商品がいくつもあり並んでいる。でも、どこでこの豆を撒くのかしらと考えてしまいます。「鬼は外〜!」「福は内〜!」という掛け声は、どこからか聞こえて来なくなりました。この頃は、マンション住まいの方が増えて神棚が無くなり、家で豆まきをすることが無くなったのかしら、あるいは、お隣さんへ迷惑をかけてはいけないとの配慮で静かに豆を撒いているのかもしれませんが。

戦前のことですが、私が幼い頃は、数日前から玄関の軒先に魔除けのために、終(ひいらぎ)の小枝に鰯(イワシ)の頭を刺して吊るしてありました。我が家には神棚があり、そこには升に入れた豆が供えしてありました。夕方、父が工場から帰宅すると、まず、「鬼は外〜!」と言って、鬼が外に出たところを見計らって、直ぐに玄関を閉めて「福は内〜!」と家の中を

順に、お勝手口、おトイレ、2階の奥の部屋から次から次へと全ての部屋で豆を撒いていました。撒き終ると、姉妹で部屋中の豆を競争して拾った思い出が



あります。

戦後も世の中が落ち着いて来るに従い、どこのお宅からでもお父さんの大きな声が聞こえてきたものです。

私が家庭を持つてからは、子供が神社に付属の幼稚園に通っ

ていたので、園長先生の他、スタッフの方々が、鬼となり、子供たちは幼稚園が用意した、きらびやかな衣装を身につけて、鬼退治をして楽しい思い出を作ってくれました。でも徐々に、殆どの家庭では、豆まきする習慣は無くなってきたようです。

子供たちが巣立って行った後は、豆まきには縁が無くなってしまいました。が、数年前迄は、近所の神社で豆まきの行事があるときには、パックに入った豆を拾いに行きましたけど、その機会もコロナ禍で、今年は無くなってしまいましたね。今の子どもたちはどうしているのでしょうか?

毎年、今頃になると、昔、姉妹で豆を拾って賑やかに食べたことや、母が豆の余りを砂糖豆にしてくれたことを、懐かしく思い出します。

最近「恵方巻き」というものが、スーパーで売られていて、豆まきの代わりに、この恵方巻きを恵方に向けて願い事を込めて、モグモグと無言で丸かじりするようですが、関東育ちの私には、何故か馴染めないですね。



第12回シルバー川柳から乗鞍澄子さん作「年重ね もう喰べられぬ 豆の数」

「シニア人材バンク 登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をお願いします

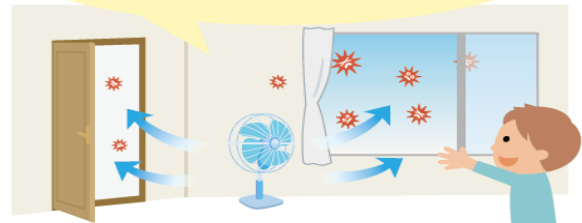
「密閉」「密集」「密接」しない!

●「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

他の人と
十分な距離を取る!



窓やドアを開け
こまめに換気を!



屋外でも密集するような
運動は避けましょう!

少人数の散歩や
ジョギングなどは大丈夫

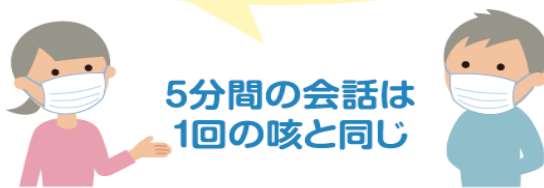


飲食店でも距離を取りましょう!

- ・多人数での会食は避ける
- ・隣と一つ飛ばしに座る
- ・互い違いに座る

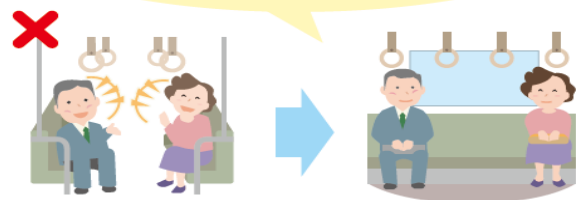


会話をするときは
マスクをつけましょう!



5分間の会話は
1回の咳と同じ

電車やエレベーターでは
会話を慎みましょう!



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

厚生労働省フリーダイヤル

厚労省 コロナ

検索

0120-565653



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168 FAX 03-5608-6404

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間: 平日午前10時~午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

窓辺で編集作業をしていると、窓の外にフワフワとちらつくものが落ちてきた。午後から雨の予報であったが、雪ではないか! 何故かフワフワしてくる。子供の頃、雪と戯れた楽しいひと時を思い出して、一瞬、新型コロナウイルスのことを忘れた。

編集後記